



日本災害情報学会 第17回学会大会プログラム

—10月24日（土）甲府市総合市民会館&10月25日（日）山梨大学—

10月23日（金）	エクスカーショ
10月24日（土）	—甲府市総合市民会館にて—
9:00	受付開始
9:30~10:30	口頭発表（A1, B1）
10:40~11:40	口頭発表（A2, B2）
11:50~12:30	総会
13:30~15:00	ポスターセッション（多目的室）
15:00~16:20	総会・廣井賞表彰式
16:40~18:30	シンポジウム
19:00~20:30	懇親会（山の都アリーナ）
10月25日（日）	—山梨大学にて—
9:00	受付開始
9:30~10:40	口頭発表（C1, D1, E1）
10:50~12:00	口頭発表（C2, D2, E2）
13:00~14:10	口頭発表（C3, D3, E3）
14:20~15:30	口頭発表（C4, D4, E4）
15:40~16:50	口頭発表（C5, D5, E5）
17:00~17:15	阿部賞・河田賞表彰式

10月24日（土） 会 場：甲府市総合市民会館
A会場：1階・芸術ホール B会場：3階・大会議室

10月25日（日） 会 場：山梨大学
C会場：Y号館3階・16教室 D会場：Y号館3階・17教室 E会場：Y号館3階・18教室

参加費 ：エクスカーショ参加費 3,000円
 学会大会参加費（2日間共通） 正会員 2,000円, 非会員 4,000円, 学生 1,000円
 学会予稿集 正会員 2,000円, 非会員 4,000円, 学生 1,000円
 懇親会費 一般 5,000円 学生会員 3,000円
 ※学生非会員は正会員と同額です。

懇親会場：甲府市総合市民会館 1階・山の都アリーナ

10月23日（金）

エクスカーショ

【A. 富士山コース】

13:00 集合：富士山駅、解散：甲府駅

【B. 伝統治水工法コース】

13:00 集合・解散：甲府駅

タイムテーブル

10月24日(土) 甲府市総合市民会館	A会場 (1階・芸術ホール)	B会場 (3階・大会議室)
9:30~10:30	A1 気象・水害(1) (座長 牛山素行)	B1 システム・通信・GIS(1) (座長 福島隆史)
10:40~11:40	A2 地震・津波(1) (座長 廣井 悠)	B2 教育・教訓・継承(1) (座長 照本清峰)
11:50~12:30	総会①	—
12:30~13:30	昼休憩	
13:30~15:00	【会場：1階・多目的室】 ポスターセッション	
15:00~16:20	総会②、廣井賞	—
16:40~18:30	シンポジウム	—
19:00~20:30	【会場：1階・山の都アリーナ】 懇親会	

10月25日(日) 山梨大学	C会場 (Y号館3階・16教室)	D会場 (Y号館3階・17教室)	E会場 (Y号館3階・18教室)
9:30~10:40	C1 教育・教訓・継承(2) (座長 金井昌信)	D1 地震・津波(2) (座長 中森広道)	E1 調査・統計・解析(1) (座長 及川 康)
10:50~12:00	C2 教育・教訓・継承(3) (座長 磯打千雅子)	D2 地震・津波(3) (座長 関谷直也)	E2 地域防災・BCP(1) (座長 森山聡之)
12:00~13:00	昼休憩		
13:00~14:10	C3 教育・教訓・継承(4) (座長 宇田川真之)	D3 地震・津波(4) (座長 鷹野 澄)	E3 気象・水害(2) (座長 松尾一郎)
14:20~15:30	C4 教育・教訓・継承(5) (座長 近藤誠司)	D4 調査・統計・解析(2) (座長 横田 崇)	E4 気象・水害(3) (座長 入江さやか)
15:40~16:50	C5 システム・通信・GIS(2) (座長 伊勢 正)	D5 地域防災・BCP(2) (座長 鍵屋 一)	E5 気象・水害(4) (座長 中谷 剛)
17:00~17:15	【会場：Y号館3階・17教室】 阿部賞・河田賞表彰		

10月24日(土) 9:30~10:30 口頭発表(一件につき発表10分、質疑5分)

A1 気象・水害(1)(甲府市総合市民会館 1階芸術ホール 座長:牛山素行)

- A1-1 平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害に関する調査
藁谷峻太郎(株式会社サーベイリサーチセンター)
- A1-2 伊豆大島土砂災害に見る垂直避難の評価
田中淳(東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)
- A1-3 土砂災害危険箇所と犠牲者発生位置の関係について
牛山素行(静岡大学防災総合センター)

B1 システム・通信・GIS(1)(甲府市総合市民会館 3階大会議室 座長:福島隆史)

- B1-1 災害時にも対応可能な再生可能エネルギー発電蓄電教育システム ー北陸地域の太陽光発電量の実測評価ー
小熊博(富山高等専門学校電子情報工学科)
- B1-2 「Lアラート」はどこまで迅速か?
天野篤(アジア航測株式会社)
- B1-3 気象庁公式アカウント(@JMA_kishou)のジレンマーツイッターの速さを生かせない理由ー
福島隆史(TBSテレビ報道局)

10月24日(土) 10:40~11:40 口頭発表(一件につき発表10分、質疑5分)

A2 地震・津波(1)(甲府市総合市民会館 1階芸術ホール 座長:廣井悠)

- A2-1 地震予知は防災対策の一項目として位置付けを
岩田孝仁(静岡大学防災総合センター)
- A2-2 東海地震対策の民間住宅における減災効果:プログラム評価アプローチ
大谷竜(産業技術総合研究所)
- A2-3 確率論的地震出火予測地図の提案と作成
廣井悠(名古屋大学減災連携研究センター)

B2 教育・教訓・継承(1)(甲府市総合市民会館 3階大会議室 座長:照本清峰)

- B2-1 Dr. ナダレンジャーの五七五いろはカルタ
罇優子(防災科学技術研究所)
- B2-2 地域との連携による学校の防災力強化の取り組み
長屋和宏(つくば AZUMA 学園地域防災コーディネーター)
- B2-3 地震発生直後における小学生の対応行動の認識に関する規定要因
照本清峰(人と防災未来センター)

10月24日(土) 11:50~12:30

総会(甲府市総合市民会館 1階芸術ホール)

10月24日(土) 13:30~15:00 ポスターセッション 甲府市総合市民会館 1階多目的室

ポスターセッション前半(責任在席時間 13:30~14:15)

- P1 自立型防災通信ステーションの開発と応用可能性の検討
鍋田真一(静岡学園高等学校)
- P3 住民参加による災害・防災情報のオープンデータ化と活用方法の提案

前田実優(公立ほこだて未来大学大学院システム情報科学研究科)

- P5 防災気象情報対応型浸水予測図の提案
本間基寛(京都大学防災研究所)
- P7 大都市複合災害避難シミュレーションの提案
廣井悠(名古屋大学減災連携研究センター)
- P9 津波危険地帯標識の設置事例を見る(3)ー京浜急行沿線自治体の現況ー
宇井忠英(環境防災総合政策研究機構)
- P11 Dr. ナダレンジャーの役に立たない防災造語辞典
罇優子(防災科学技術研究所)
- P13 映画で学ぶ感染症パンデミック〜リスクコミュニケーション啓発資料の一つとして〜
加藤美生(東京大学大学院医学系研究科)
- P15 オープンストリートマップからの回遊中心性による抽出地点の防災の観点からの評価
湯瀬裕昭(静岡県立大学経営情報学部)
- P17 東日本大震災における災害ボランティアセンター運営で実施された情報利活用の考察〜宮城県を事例に〜
水井良暢(防災科学技術研究所災害リスク研究ユニット)
- P19 スマート雨水タンクの実装状況と今後の展開について
森山聡之(福岡工業大学社会環境学部)
- P21 ICT 活用型避難訓練をデザインするという防災教育
光原弘幸(徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部)

ポスターセッション後半(責任在席時間 14:15~15:00)

- P2 防災情報・災害情報の統合化と初動避難行動における情報伝達の検討
林拓哉(名古屋工業大学大学院工学研究科)
- P4 洪水ハザードマップアプリにおける避難所選択手順のユーザ評価に基づく検討
久山勝生(関西大学大学院総合情報学研究科)
- P6 「水害地形分類図デジタルアーカイブ」の構築
鈴木比奈子(防災科学技術研究所自然災害情報室)
- P8 防災訓練の分析に基づいた山間集落の孤立対策の提案
湯志君(山梨大学大学院医学工学総合教育部)
- P10 都市における若者・青年層の災害に関する意識と情報ー社会調査からの考察ー
中森広道(日本大学文理学部社会学科)
- P12 情報ボランティアによる情報収集活動と微弱 FM 放送を連携させた狭域情報配信システムの実証評価ー和歌山県海南市下津町大崎の事例ー
塚田晃司(和歌山大学システム工学部)
- P14 災害時における紙情報の拡大掲示についての検討
黒田洋司(消防科学総合センター研究開発部)
- P16 被災者の住宅再建支援における情報運用の構造化ー東日本大震災被災地の事例ー
李泰榮(防災科学技術研究所災害リスク研究ユニット)
- P18 災害につよい避難所機能を目指した安否情報集計機能を有する電源装置の基礎研究
曾篠恭裕(熊本赤十字病院国際医療救援部)

P20 災害時のリスクコミュニケーションに関する研究—南海トラフ巨大地震想定地域を対象に—(その2)
宇田川真之(ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター)

P22 2015 年箱根山の火山活動に伴う「風評被害」の研究
竹田宜人(横浜国立大学環境情報学府)

10月24日(土) 15:00~16:20

総会・廣井賞表彰式(甲府市総合市民会館 1階芸術ホール)

10月24日(土) 16:40~18:30

公開シンポジウム(甲府市総合市民会館 1階芸術ホール)
シンポジウム 大規模水害時の住民避難における地域連携

・基調講演 山梨における水害の歴史と治水対策 砂田憲吾 山梨大学名誉教授
・コーディネーター 鈴木猛康 山梨大学教授
パネリスト 砂田憲吾 山梨大学名誉教授
田中克直 国土交通省甲府河川国道事務所長
吉原雅之 新潟県見附市企画調整課課長補佐(防災担当)
飯野奈津子 NHK 甲府放送局長
手塚義人 FM FUJI 取締役放送本部長
終了挨拶 樋口雄一 甲府市長
司会 半井小絵 気象予報士、日本災害情報学会企画委員

10月24日(土) 19:00~20:30

懇親会 甲府市総合市民会館 山の都アリーナ

10月25日(日) 9:30~10:40 口頭発表(一件につき発表10分、質疑5分)

C1 教育・教訓・継承(2)(山梨大学 Y号館3階・16教室 座長:金井昌信)

- C1-1 日大櫻丘高校で実施した理科教育中の防災教育の一例
柴山愛(日本大学櫻丘高等学校)
- C1-2 簡易アンケートによる小・中学生の防災意識の調査と「減災アクションカードゲーム」の効果測定
大柳良介(東北大学大学院環境科学研究科)
- C1-3 東日本大震災前後の小中学校の教科書における防災学習内容の量的分析
岡田夏美(関西大学社会安全研究科)
- C1-4 “児童生徒の主体的な学び”を重視した防災教育の提案
金井昌信(群馬大学大学院理工学府)

D1 地震・津波(2)(山梨大学 Y号館3階・17教室 座長:中森広道)

- D1-1 津波の高さに対する危機意識の違い—被災地域住民・高校生・大学生を例として—
行場絵里奈(東北大学災害科学国際研究所)
- D1-2 夜間における津波避難の課題(その1)—避難訓練の死角
矢守克也(京都大学防災研究所)
- D1-3 夜間における津波避難の課題(その2)—伊予灘地震の実態調査と夜間避難訓練の分析
杉山高志(京都大学大学院情報科学研究科)
- D1-4 夜間における津波避難の課題(その3)—「個別避難訓練」を用いた昼夜の比較研究
孫英英(京都大学防災研究所)

E 1 調査・統計・解析（1）（山梨大学 Y号館3階・18教室 座長：及川康）

- E1-1 2015年5月口永良部島新岳噴火における緊急避難および全島避難の実態
小林秀行(東京大学大学院学際情報学府)
- E1-2 アンサンブル予測を利用したシナリオ型台風予測情報の検討
本間基寛(京都大学防災研究所)
- E1-3 鉄鋼業におけるリスク発生時の情報共有に関する研究
豊嶋駿亮(名古屋工業大学)
- E1-4 ワイブル分布を用いた災害死者数のベイズ推定モデル
小谷稔(神戸大学大学院工学研究科)

10月25日（日）10：50～12：00 口頭発表（一件につき発表10分、質疑5分）

C 2 教育・教訓・継承（3）（山梨大学 Y号館3階・16教室 座長：磯打千雅子）

- C2-1 被災地における弱さの情報を公開する意味～「クロスロード：大洗編」を例に～
李勇昕(京都大学防災研究所)
- C2-2 仮想現実ソフトウェアと震動体感環境の融合による効果的な減災啓発ツールの開発
倉田和己(名古屋大学減災連携研究センター)
- C2-3 避難時の心得におけるイラストの注目度と理解度に関する検討
桑原健悟(関西大学大学院総合情報学研究科)
- C2-4 宮崎県教育庁と連携した防災ワークショップの実施報告及び宮崎県地方気象台独自の教職員アンケート調査に見る宮崎県の学校安全・防災教育の課題
富澤周(宮崎地方気象台)

D 2 地震・津波（3）（山梨大学 Y号館3階・17教室 座長：関谷直也）

- D2-1 ソーシャルセンシングによる被災地の被害状況と支援ニーズの把握の可能性－東日本大震災の発生前後に発信された Twitter の分析－
佐藤翔輔(東北大学災害科学国際研究所)
- D2-2 東日本大震災における路線バス運行現場の災害時対応
佐藤良太(筑波大学大学院システム情報工学研究科)
- D2-3 地震被害想定を「使える情報」に変えるには？－想定情報の提供方法を題材とした協創型ワークショップの記録－
佐藤慶一(専修大学ネットワーク情報学部)
- D2-4 日本海津波「想定」の課題－ヒアリングによる予備調査
関谷直也(東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

E 2 地域防災・BCP（1）（山梨大学 Y号館3階・18教室 座長：森山聡之）

- E2-1 和歌山県沿岸部自治体における福祉避難所の現状に関するアンケート調査
宇野宏司(神戸市立工業高等専門学校都市工学科)
- E2-2 基礎自治体における災害時の業務継続にかかる事前対策の実態・課題、推進に向けた提案～自治体へのアンケート結果からの分析～
陸川貴之(関西大学大学院社会安全研究科)
- E2-3 住民が避難しない理由を踏まえた災害対応の必要性
作間敦(環境防災総合政策研究機構 CeMI 環境防災研究所)
- E2-4 初動対応期における様々な移動体を用いた情報収集・伝達手法の検討

10月25日(日) 13:00~14:10 口頭発表(一件につき発表10分、質疑5分)

C3 教育・教訓・継承(4)(山梨大学 Y号館3階・16教室 座長:宇田川真之)

- C3-1 日本映画を題材とした災害のポピュラー文化研究—1973年版と2006年版の『日本沈没』を例として—
安本真也(早稲田大学大学院政治学研究科)
- C3-2 参加型防災教育における知識共有についての考察—満点計画学習プログラムの役割継承をめぐって—
岩堀卓弥(京都大学情報学研究科)
- C3-3 大雨時の土砂災害ポテンシャル評価に向けた火山噴火史データの活用
木村諒(日本地すべり学会)
- C3-4 津波「非」常襲地における津波災害文化の変容—石垣市を事例として
定池祐季(東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

D3 地震・津波(4)(山梨大学 Y号館3階・17教室 座長:鷹野澄)

- D3-1 信濃善光寺にある供養塔が伝える関東大震災
武村雅之(名古屋大学教授減災連携研究センター)
- D3-2 首都直下地震よ!東京オリンピックの後にして
伯野元彦(東京大学)
- D3-3 首都直下型地震における医療機関の被災予測
岡垣篤彦(国立病院機構大阪医療センター)
- D3-4 緊急地震速報によるエレベータ地震時管制運転の制御装置の開発とその普及に向けた課題
鷹野澄(東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

E3 気象・水害(2)(山梨大学 Y号館3階・18教室 座長:松尾一郎)

- E3-1 2003年の豪雨災害の人的被害の原因分析
横幕早季(静岡大学防災総合センター)
- E3-2 生活防災タイムラインを通じた災害対応に対する住民意識の変化
竹之内健介(三重県)
- E3-3 屋内安全確保を考慮した避難に関わる情報提示と住民避難意向に関する研究
児玉真((株)アイ・ディー・エー社会技術研究所)
- E3-4 消防職員が災害現場で求める気象情報
酒井将也(防災科学技術研究所 観測・予測研究領域 水・土砂防災研究ユニット)

10月25日(日) 14:20~15:30 口頭発表(一件につき発表10分、質疑5分)

C4 教育・教訓・継承(5)(山梨大学 Y号館3階・16教室 座長:近藤誠司)

- C4-1 孤立対策のための効果的なリスクコミュニケーション
鈴木猛康(山梨大学地域防災・マネジメント研究センター)
- C4-2 2014年12月徳島県西部の大雪災害による山間集落の孤立と対策
三神厚(徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部)
- C4-3 トルコの津波防災教育の拡充に向けた研究
阪本真由美(名古屋大学減災連携研究センター)
- C4-4 「ぼうさいマイ CREDO」のポテンシャル

近藤誠司(関西大学社会安全学部)

D4 調査・統計・解析(2)(山梨大学 Y号館3階・17教室 座長:横田崇)

- D4-1 避難勧告の見逃し・空振りしが住民避難行動に及ぼす影響
及川康(東洋大学理工学部)
- D4-2 災害復興における地域シンボルの役割—ゼロリスクの考えを超えて・福島県富岡町—
佐藤年緒(科学ジャーナリスト・元 時事通信)
- D4-3 花火大会を事例とした大規模観光イベントにおけるゲリラ豪雨時の避難誘導
秦康範(山梨大学地域防災・マネジメント研究センター)
- D4-4 避難の行動意図モデル
横田崇(愛知工業大学工学部)

E4 気象・水害(3)(山梨大学 Y号館3階・18教室 座長:入江さやか)

- E4-1 電話通報数に基づく災害危険度の推定—2014年広島豪雨災害事例による検証—
塩崎竜哉(多治見市役所企画防災課)
- E4-2 洪水時の避難に対する住民意識調査
河関大祐(消防研究センター)
- E4-3 大雨特別警報3事例の周知状況についての調査—危機の情報ほどの程度伝わっていたか—
福長秀彦(NHK放送文化研究所メディア研究部)
- E4-4 2014年広島豪雨災害被災地域住民が求めた「生活情報」と入手方法
入江さやか(NHK放送文化研究所メディア研究部)

10月25日(日) 15:40~16:50 口頭発表(一件につき発表10分、質疑5分)

C5 システム・通信・GIS(2)(山梨大学 Y号館3階・16教室 座長:伊勢正)

- C5-1 アマゾンの「ほしいものリスト」を活用した自治体の避難所支援体制構築について
坂東淳(徳島県危機管理部とくしまゼロ作戦課)
- C5-2 統合化地域防災実践支援 Web サービスの構築—ここまでの成果と課題の解決に向けて—
三浦伸也(防災科学技術研究所)
- C5-3 オープンデータとGISを活用したライフライン液状化被害の分析について
久世晋一郎(名古屋大学減災連携研究センター)
- C5-4 分散相互運用型の災害情報システムが利用者に与える影響に関する考察
伊勢正(防災科学技術研究所)

D5 地域防災・BCP(2)(山梨大学 Y号館3階・17教室 座長:鍵屋一)

- D5-1 化学物質管理制度における震災対策と地域防災計画の比較(住民への情報提供に着目して)
竹田宜人(製品評価技術基盤機構化学物質管理センター／横浜国立大学環境情報学府)
- D5-2 社員の事業継続対応能力向上支援を目的とした3D-VR災害状況再現・対応能力訓練システムの活用
磯打千雅子(香川大学危機管理研究センター)
- D5-3 基礎自治体の防災・減災マネジメントと防災条例—東京都板橋区防災基本条例を事例に—
鍵屋一(跡見学園女子大学観光コミュニティ学部)

E5 気象・水害(4)(山梨大学 Y号館3階・18教室 座長:中谷剛)

- E5-1 テレビにおける「避難情報の放送タイムラグ」等の問題

木戸崇之(朝日放送報道局ニュース情報センター)

E5-2 2014年丹波豪雨災害における住民の避難行動に関する調査報告
越山健治(関西大学社会安全学部)

E5-3 XバンドMPLレーダ気象情報を使った社会実験—モバイル・メディアを使った実験—
中村功(東洋大学社会学部)

E5-4 XRAINを利用した高頻度土砂災害危険度情報の有効性に関する検討—平成26年広島豪雨土砂災害を事例に—
中谷剛(防災科学技術研究所 観測・予測研究領域 水・土砂防災研究ユニット)

10月25日(日) 17:00~17:15

阿部賞・河田賞表彰式(山梨大学 Y号館3階・17教室)